

## 青少年センター運営委員会 会議概要

- 1 審議会名.....平成29年度第3回青少年センター運営委員会
- 2 日.....時.....平成29年11月7日.....午後3時から午後4時30分まで
- 3 会.....場.....安曇野市役所.....4階会議室401
- 4 出席者.....内川会長、大塚委員、勝野委員、中沢委員、水谷委員、戸塚委員、有賀委員
- 5 市側出席者.....蓮井課長、松岡係長、池田指導員、曾山
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....29年11月17日

### 協 議 事 項 等

#### ◇会議の概要

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ（内川会長）
- 3 報告事項
  - (1) 7月1日 青少年委員の委嘱 18名
  - (2) 7月3日 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」一斉街頭啓発
  - (3) 7月14日 第42回長野県青少年補導活動推進大会（飯山市）  
内川会長、片桐副会長、望月委員、戸塚委員、事務局1名参加
  - (4) 8月7日 夏休み街頭巡回（豊科・穂高・堀金） 台風のため中止  
8月8日 夏休み街頭巡回（三郷・明科）
  - (5) 10月11・12日 青少年補導委員会会長・青少年補導センター所長等視察研修  
内川会長、センター所長参加
  - (6) 10月13日 安曇野市小中高等学校生徒指導連絡協議会第2回総委員会  
内川会長、事務局1名出席
  - (7) 10月24日 中信4市補導センター連絡会議  
内川会長、片桐副会長、事務局5名出席
- 4 協議事項
  - (1) 「有害環境実態調査」について
  - (2) 平成29年度長野県青少年健全育成県民大会の参加について
  - (3) 青少年センター講演会について
  - (4) 視察研修について
  - (5) その他  
センターだよりについて
- 5 閉 会

#### ◇協議事項概要

- (1) 「有害環境実態調査」について（事務局より説明）

（事務局）11月は「青少年に有害な地域環境の実態調査」の実施月になっているので、委員に調査をお願いしたい。

（委員）明科地域青少年育成市民会議では、すでに何年も前から実施していることである。連携してやらないのか。

（事務局）一緒にやっていただきたい。

（委員）明科地域青少年育成市民会議では、今までセブンイレブンや酒類を売っている店など青少年に影響を与える恐れのある店に行っている。明科でやっている調査は安曇野市には報告されていないのか。

（事務局）安曇野市から県に報告する資料は来ている。明科の調査は市に届いていない。

（委員）明科地域青少年育成市民会議は県に報告しているだけか。

(委員) 穂高も実施していると思うが、どうか。

(委員) 穂高はやっていない。夏休みにやらせてもらう方がいいと思う。期限が決まっていな  
いのなら、来年度からは夏休みにしてもらいたい。

(事務局) この運動は年間を通じてやっている。11月はいろいろな強調月間が集まっているだ  
けだ。

(委員) 今回の調査に期限はあるのか。

(事務局) 12月4日までに市に報告していただきたい。

(委員) 明科地域青少年育成市民会議で実施するときは調査カードだけでシールはなかった。

(事務局) シールはまだあるので必要なら追加で配布可能だ。

(委員) 明科は連動してやって報告すればいいのではないか。

(事務局) 協働という形で、明科地域青少年育成市民会議で個別に報告するのでなく、センタ  
ーの委員が実施したということで市から報告したい。

(委員) 本当は市民会議としてやったものを市に控えを出せばよいのでは。正本を県に、副本  
を市に提出すればよいのでは

(事務局) 明科でいままでどのように実施していたかを確認し、連絡をもらいたい。

(委員) どうせやるなら、連携を取った方がいい

(事務局) 今回のチェックカードについては、現在会員になっている店の現状のチェックでよ  
い。

(委員) 今回の提案は性急な話であり簡単にはできないのでは？腕章や証明書を付けて回らな  
いと問題になる。気軽に行くわけにはいかない。

(事務局) 青少年センター運営委員の証明書は規約にない。

(委員) 他の自治体も何も持たないでやっているのか。

(委員) 明科地域青少年育成市民会議では口頭で話をして協力してもらっている。何も持たず  
に今までやってきた。

(委員) 先日も警察ボランティアでパチンコ店やゲームコーナーを回ったところだが、事前に  
事務局が連絡をして公安委員会だと示して店を回った。簡単にできるものか？

(委員) 明科は顔見知りが多いので簡単にできるのかもしれないが、穂高や豊科はそういうわ  
けにはいかないと思う。

(委員) 本来は年間を通じて実施することだと思われる。ひと月でどうにかしろということは  
性急すぎる。どうしても実績を上げろということか

(事務局) 11月にどうしても実施しなくてはいけないというものではない。年間を通して実施  
するものであり、今後実践していくことをお願いしたい。

(委員) お願いに行くときに団体の印鑑を押した文書があればいいかと思う。青少年センター  
として調査に協力をお願いしたいという印鑑が押してある文書を持っていくことができ  
ないか。

(委員) 今までに行っているところは理解を得られるかと思う。

(委員) 今までの協力店に三郷、堀金がない。三郷の初めて行く店で文書を見せるだけで理解  
してもらえるか心配だ。

(事務局) 「青少年健全育成協力店」のチラシの配布ととらえて、協力は任意なので話は難しく  
ないと思われる。

(委員) 最初は事務局が行って、その後複数の委員で対応しないと、何でそんなことに協力を  
しなくてはいけないと言われかねない。どうしてもやるなら、今までに協力店になっ  
ているところを委員が回るくらいで、新規にお願いするのは難しい。

(委員) コンビニならやっていただけたと思うが。

(事務局) コンビニは自主規制業界団体として登録があるので、大手のコンビニは自主規制協  
会に入っていると思われる。有害な社会環境排除運動に協力をお願いすれば断られない  
と思う。実際にやってみないとわからないが、実施月にこだわらなくてもよいので、青  
少年センターとしての活動をしたい。

(委員) もっと早く9月頃から検討してもらえば11月の実施ができた。本日は欠席者も多い。  
全委員に周知してもらいたい。

(委員) 育成会や防犯の方たちも実施していることではないか？連携は？

(事務局) 組織として取り組んでいるとは思われる。青少年センターとしての取り組みを考え

ている。他の団体でやっているところはある。

(委員) 一緒に動かなくて良いのか。

(事務局) 今回の提案は12月4日までに報告をしてもらうというものだったが、期日にこだわらず、年間を通じての活動が必要であり、2、7、11月が強調月間になっている中で取り組んでいきたい。

(委員) 大切な仕事なので、全委員に周知して、全員で取り組みたい。

(委員) 穂高地域は穂高地域青少年育成連絡協議会として取り組んで、結果を市に報告するという形でも良いのか。

(委員) 市の実績とするために報告をすれば構わないのでは。

(事務局) チェックカードの実施団体に穂高地域青少年育成連絡協議会と青少年センターの2団体名を明記してもらってもよい。

(委員) 欠席の委員に対して説明はどうするのか。

(事務局) 2月の強調月間に向けて進めていく。会議でもう一度説明する。協力依頼のチラシも作成する。

(委員) 身分証も作ってもらいたい。

(2) 平成29年度長野県青少年健全育成県民大会の参加について

11月18日(土)12時45分～大町文化会館にて開催  
青少年センター運営委員3人、事務局1人が参加予定

(3) 青少年センター講演会について

外国人が感じる母国と日本の生活、青少年の違いなどについてパネルディスカッションを開催する。

(委員) 外国人の候補者はいるのか。

(事務局) 具体的な人は決まっていない。あづみの国際化ネットワークにお願いする予定。

(委員) 実際には、日本に来てから子どもを産み育てているので、母国の学校との違いがわからないという外国人もいる。日本の学校でいじめにあっていないか、親として学校に対する要望はないかなど現状の問題について聞きたいと思う。

(委員) 小学校に外国人が転校してきたが、すぐに転校してしまった。安曇野市は暮らしやすいか、仕事はどうかなど、生活について聞きたい。

(委員) 司会については松本大学の先生しか思い当たらないが、安曇野市にはいるのか。

(委員) 穂高の市会議員になった小林陽子さんか加藤史子さんはどうか。

(事務局) 司会の仕事をしている方か。

(委員) 教育カウンセラーで本も出している。

(事務局) 自分で話すのは大丈夫かもしれないが、司会はどうか。

(委員) ご自身もお子さんが小さいし、大丈夫ではないか。

( ) 外国人もまじえた内容でも大丈夫か。

(事務局) ご自身が講演されるのはいいかもしれないが、司会はどうか。

(委員) 誰にお願いするにしても、司会は難しいと思う。テーマも沢山あげても困るのでは。個人的には外国の学校の休みについて聞きたい。

(事務局) 今回は、生まれた国と日本では子育てについてどんなことが違うかをおおきなテーマとして話を展開していけばどうか。

(事務局) あづみの国際化ネットワークからは具体的なテーマを出してほしいといわれた。

(委員) あづみの国際化ネットワークの丸山さんにお願いすることはできないのか。

(事務局) あづみの国際化ネットワークでは司会は考えていないと聞いている。

(事務局) 講演会は講演内容と人が集まるかが問題。興味のある方は来てくれる

(委員) 司会の技量によると思われる。外国人は日本語がどれだけ話せるか問題ではないか。

(委員) テーマはこちらで決めるのではなく、パネラーの外国人が日本人たちにお伝えしたいことを話してもらおう方がいいのではないか。

(事務局) 欠席の委員もいるので11月中旬にテーマについて意見を寄せていただくこととする。

(4) 視察研修について

警察で行われている立ち直り支援の体験活動として、穂高の活禅寺北アルプス別院で座禅が行われている。この座禅を実際に体験する。

(事務局) 11月24日か12月1日に実施で調整する

(5) その他

センターだよりについて

(事務局) 青少年センターだよりは6月、10月、2月の年3回、広報あづみに折り込みで発行している。紙面で今までに安曇野少年警察ボランティア協会、安曇野市民生児童委員協議会の記事を書せた。次号では穂高地域青少年育成連絡協議会、安曇野市更生保護女性会、安曇野地区保護司会のいずれかの団体に記事をお願いしたい。

(委員) 保護司会はすでに掲載済みだ。

(事務局) 更生保護女性会をお願いしたい。